

学校を見学した中学生の声

長狭高等学校

○学校の特徴

- ・基本をしっかりと身につけさせ、様々な進路に対応。1年には選抜クラス、2年から文系、理系、医療・福祉に分かれる。福祉では資格を取得できる

○学校の様子(授業や生徒の様子)

- ・創立100年と思えないほどキレイ

○中学校にはない場所や施設

- ・医療・福祉コースのベッドがたくさんある教室
- ・小体育館(トレーニングルーム)、文化ホール

○印象に残ったことや感想

- ・まじめな生徒、チャレンジする人がいっぱいいる
- ・医療系の実習があると聞いて、自分に合っているなと思った
- ・自分のやりたいことは何なのか、しっかり考えて自分に合った高校選びをしようと思った



安房拓心高等学校

○学校の特徴

- ・安房地域に一つしかない総合学科
- ・毎朝10分のチャレンジタイムがある
- ・月曜の放課後に進路補習がある

○学校の様子(授業や生徒の様子)

- ・生徒が静かに授業を聞いていた
- ・先生と生徒の仲が良い

○中学校にはない場所や施設

- ・牛舎や温室、畑に使う機械

○印象に残ったことや感想

- ・手厚い進路指導=自分の希望進路の実現
- ・調理系列で実際に作っているものがすごく本格的でびっくりした
- ・意外に遠くて大変かもしれないけど、将来のことを考えるととても良い学校だと思う



安房高等学校

○学校の特徴

- ・進学指導重点校(県内10校)、教員基礎コース設置
- ・単位制の実施→進路希望に応じた選択授業
- ・7時間×45分授業→たくさんの授業を受けられる
- ・少人数授業→2クラス3展開(きめ細かい指導)

○学校の様子(授業や生徒の様子)

- ・廊下を通っても自分たちの声が響くくらい静か
- ・全員が一糸懸命授業を受けている

○中学校にはない場所や施設

- ・水球用室内プール、雁友館(合宿所)
- ・無弦館(記念館)、自習室

○印象に残ったことや感想

- ・勉強は大変そうだけど、先輩はとっても楽しそう
- ・校訓の「文武両道」のように、学力にも部活動にも力を入れ、どちらも良い結果を残している



館山総合高等学校

○学校の特徴

- ・4つの学科がある
- ・将来につながる専門分野の勉強ができる
- ・資格が取得できる

○学校の様子(授業や生徒の様子)

- ・授業に集中していた
- ・実習をしっかりと受けていた

○中学校にはない場所や施設

- ・水産校舎、工業実習室、保育室、実習船

○印象に残ったことや感想

- ・それぞれの科によって、勉強する内容が全然違うことが改めてわかった
- ・学科の中にコースがあって、目指しているものに合わせて選択できるところがすごい
- ・やりたいこと、学びたいことができると思う



第八学区県立四校生徒座談会

第八学区には県立高校が四校あります。今回は、各校がどんな学校かを広く知ってもらうため、代表生徒が集まってもらい、各校の紹介や志望理由などを語ってもらいました。



左端:安房高校(宮岡大地さん)
中左:安房拓心高校(吉田遥音さん)
中右:館山総合高校(鈴木花蓮さん)
右端:長狭高校(稲葉友花さん)

【各校の特長について】

(安房拓心 吉田さん) 拓心高校は、園芸、畜産、土木、文理、調理系列の五つの系列の中から自分の学びたいことや、好きなことを好きなだけ学べる魅力のある高校です。もし、将来やりたいことが見つかってなくても、きつと拓心高校での生活の中で見つけることができます。何より多くの資格を取れるところや、進路決定率ほぼ一〇〇%という点は他の高校にはない特色です。

(長狭 稲葉さん) 長狭高校の一番の魅力は、医療・福祉コースがあることです。医療コースでは、亀田総合病院での実習や講師による実際の授業などがあります。福祉コースでは介護実習や手話の勉強、高齢者のレクリエーションなどを体験し、介護職

員初任者研修を受けて資格を取ることができます。また、「サポートシステム」という大学進学用の補習や、学習アプリを活用した勉強など、進学のためのサポートが充実しています。そして最近では部活動の活躍が素晴らしく、男子バスケットボール部は県総体で準優勝、剣道部、陸上競技部、水泳部は関東大会に出場しています。



(館山総合 鈴木さん) 館山総合高校には、工業科、商業科、海洋科、家政科の個性豊かな学科が四つあります。各分野のスペシャリストを目指し、実習や様々な資格取得が多く行われ、卒業後に役に立つスキルを在学中に身に付けられるのが大きな特長です。また、早い段階から学ぶ分野を絞ること、将来の夢ややりたいことが見つけやすく、多くの生徒が、高校で学んだことを生かして就職や進学をしていきます。

(安房 宮岡さん) 安房高校は、「文武両道」「質実剛健」の校訓のもと、勉強と部活動を両立させている生徒が多い学校です。昨年度の創立百二十周年の式典では卒業生の鈴木おさむ氏の



講演があり、節目には有名人が講演をしてくれました。部活動では、今年度、陸上部が全国大会に出場、柔道部が五十一回目の関東大会に出場するなど素晴らしい成績を残しています。また、大学進学においても、昨年度は東京工業大や千葉大医学部、横浜国立大など難関大学にも合格しています。

【志望の理由について】
(安房拓心 吉田さん) 私は元々調理師になりました。高専で調理師免許が取得できる拓心高校を選びました。調理実習は週に十時間以上あり、専門科目も充実しています。料理の完成度、レポートなど求められるものは相当厳しいですが、やりがいをもって臨むことができました。



(長狭 稲葉さん) 私は将来、助産師を目指しているのですが、医療従事者に必要な基礎知識や技能を学ぶために、長狭高校に入学しました。医療コースを選択したことで、高校生のうちから必要な知識を得ることができ、実習を通して患者さんとも関わられるため、コミュニケーション能力を高めることができました。

(館山総合 鈴木さん) 私は館山総合高校在学中に、社会に役立つスキルをたくさん身に付けられることを知ったからです。今ではタッチタイピングもできるようになりました。情報機器を利用しての業務が当たり前の時代に、そのためのスキルは必要不可欠だと考えます。また、多くの資格の取得や検定の合格も選んだ理由の一つです。

(安房 宮岡さん) 私は、中学生の時から大学進学を考えていましたので、この地域で進学率の高い安房高校を選びました。安房高校は歴史が長いので、今までの先輩方が築いてきた実績で、指定校推薦枠も多くあります。私は社会に貢献できる人間になりたいと考えており、今、国立大学を目指して頑張っています。

【残したい伝統や校風について】
(安房拓心 吉田さん) 私が所属している調理系列も、農業の学びから生まれたものです。先輩から受け継がれた農業を通じての学びは是非残したいと思います。拓心高校の生徒は返事や挨拶を率先して行える生徒が多く、そのような点も先輩方から受け継がれてきたよい伝統だと思っています。

(長狭 稲葉さん) 県内でも、医療と福祉の両方がそろうている高校は少なく、三大綱領の「誠実・勤勉・高潔」のもと、明るく楽しく、何事にも一生懸命に取り組んでいる生徒がとても多いので、その校風を守りつつ、これからも長狭高校をもっと良くしていけたらいいなと思っています。

(館山総合 鈴木さん) 四つの学科が互いに刺激を受けながら、明るく生き生きと学校生活を送れる環境は残って欲しいです。実習や資格試験検定等ありますが、生徒は将来を見据えながらも有意義な高校生活を送っています。また、学科を超えた交流もあり、協力しあえるのが作っていくことができるのは館山総合高校ならではの強みだと思います。



(安房 宮岡さん) やはり校訓である「文武両道」「質実剛健」です。来年度の入学から、特別進学クラスが設置されます。2年生に上がる時、特進Sと特進A、総合クラスに分かれます。文系・理系を問わないクラスとなるので、視野を狭めることなく、皆の特色を融合して様々な分野に立ち向かっていける学校になってほしいと思います。